

町の現況
 昭42.7.1 現
 人口 6,470 人
 男 3,130 人
 女 3,340 人

広報たじろ

No. 180

8月 42年

田代町総務課編集 毎月5日 1600部発行



(写真は鶴園共同乾燥室)

主 な 内 容

- 大原前に緑茶集団地造成 (2)
- 橋ノ口水源地完成 (2)
- 備えあれば憂なし (3)
- 暑さに負けぬ食生活 (4)
- 日本脳炎がはやっています (4)



収 穫

ことしのタバコは天候に恵まれたこと、肥培管理が行き届いたことから、史上最高の豊作が予想されています。現在の予想では、反当量目二四キロ、反収一四万円、収納代金は総額約八千万円が見込まれ、収穫、乾燥に忙しい耕作者の表情もなんとなく明るく輝いています。

8月のこよみ

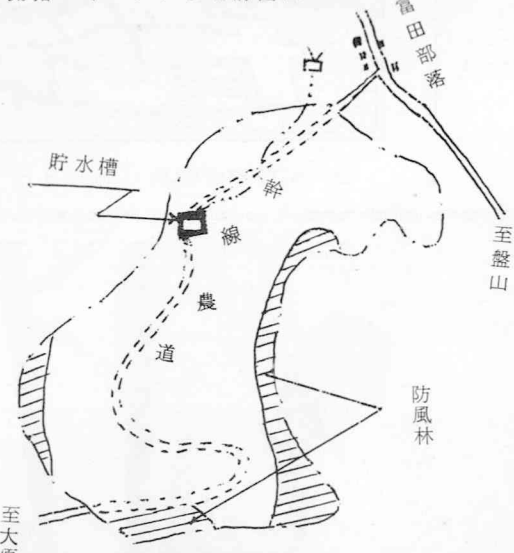
- 7月 七夕、早期水稻刈試
- 8月 田代校区婦人学級
- 11月 民生委員会
- 12月 川床記念造林地下刈(議員職員)
- 14月 畜産講座
- 15月 盆(臨時休業)
- 16月 川原永寿会印紙税法説明会
- 18月 教育委員会
- 21月 身体障害者連絡協議会発会式
- 29月 農業委員会
- 30月 野犬狩(三十一日まで)
- 30月 鑑青年学級

7月の気象

天	気	晴	8	日	曇	17	日
		雨	6	日			
月	間	雨	量	4	00	mm	
気	温	最	高	2	9.2	°C	
		最	低	2	3.5	"	
		平	均	2	6.5	"	

一戸当り年所得百二十万円を目標
大原前に緑茶集団産地を造成
総事業費千八百万円

開拓パイロット事業計画図



本町は先に農業構造改善の重点作物として、和牛、タバコ、緑茶、養蚕をとり上げ、今後はこれらの作物毎に集団産地を育成する方針であります。

既に和牛については大原地区、タバコは辺志切地区を指定し、昨年から構造改善事業が実施されてい

緑茶については立地条件などからして、盤山地区から大原前二帯が最適地と考えられ町はこの地域に

緑茶の大集団地を造る計画を立てました。

この計画に基づいて、大原前二帯の国有地に約一八町歩の茶園を作るため、営林署と用地の接渉に当たっていましたがこの用地問題も解決し、本年度「開拓パイロット事業」として実施することに決定しました。

事業は県土地改良団体連合会に委託して実施することになり、近く工事に着手し、四三年三月中旬

飲料水不足も

やっと解消



〔完成した橋ノ口水源池〕

橋ノ口水源池一期工事完成
公営水道はここ数年、給水人口の増加と水の使用量の増加によって水不足となり需要家の皆さんに大

変迷惑をかけて参りました。町としても新しい水源の確保について、いろいろ努力して参りましたが、昨年橋ノ口部落営水道を買収することができ、やっと水不足解決の目途がついた次第です。

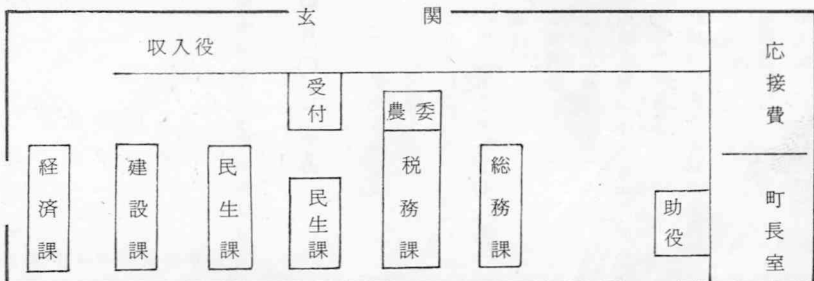
橋ノ口水源池第一期工事は、工費約五百万円をもつて四月から鹿屋市の共和建設の手により工事が進められていましたが、七月初め完成し、送水を初めました。

今回の工事は、水源池施設、ろか池、配水池等の諸施設で、今後二期工事として、水源池からの送水管増設、配水池からの送水管の取替などが計画され、全工事が完了すると、一日約千人に給水することができるようになり、水不足は完全に解消されることとなります。

課の配置が

変わりました

役場では七月一日付で、職員の人事異動を行いました。これを機会に一部の課の配置換えも実施しました。新しい課の配置は右のとおりです。



に完成の見込であります。この事業の内容は、あらまし次のとおりとなっております。

△総事業費 約千八百万円
内国が七割、地元二・割残りは町の負担となります。

△関係地の面積
総面積 二一・六町歩
内国有林地 一五・六町歩
民有地 六・〇〇〇

△関係農家 一八戸
△主な事業
開拓 一八・七町

幹線農道 一、六三〇米
耕作道 一、一七〇〃
排水路 五四〇〃
雑用水施設 九五〇〃
その他

この事業が完成すると、一戸当り約一町歩の茶園ができ上り、機械化による共同作業が実施され、五年後は一戸当り年間所得は一二〇万円に達する見込であります。

一八戸の関係農家は五年後の七ヶタ農業を夢みて、この事業の実施に大きな期待をかけています。

備えあれば憂なし

台風にそなえて

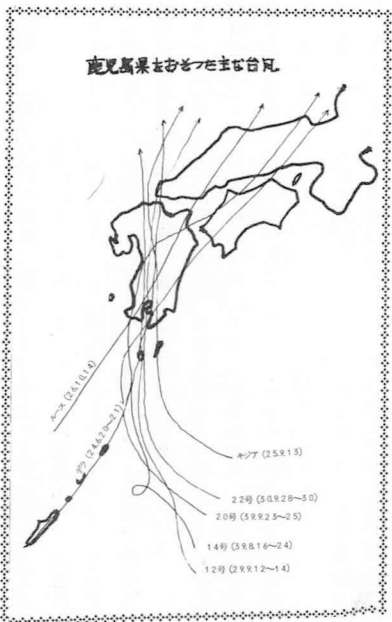
台風の季節がやって参りました

台風の季節がやって参りました。「防災計画」を近く作成しますが、気象台の長規予報でも、今年はい、六個の台風が日本へ近づくだろうと報じています。今月は台風についての対策を考えてみたいと思います。

△町の災害対策
町は台風などの災害にそなえて

○非常警戒、避難に関すること
○消防団活動に関すること

象状況によつて変り易いので、台風情報には充分注意する必要があります。停電に備えて、トランジスタラジオも備えておきたいものです。



22号(3.9.29-30) 20号(3.9.25-26) 14号(3.9.16-17) 12号(2.9.12-14)

新貧乏感

くらしのメモ

アメリカの宣伝会社の社訓に、次のような戦術十訓があります。

- 1 もつと使わせろ
- 2 捨てさせろ
- 3 ムダ使いさせろ
- 4 季節を忘れさせろ
- 5 贈り物に使わせろ



が不通のときは、近くの消防団員に依頼してください。

△非難をするときの注意
○電気、ガスなどの火の仕末と戸締りを確実にする。
○頭には、ずきん、ヘルメットを必ずつける。
○家族そろつて、消防団の指示に従つて避難する。
○回り道でも安全な道を選ぶ。

女は長生きする

年令	90	91	92	93	94	95	96	計
男		1				1		2
女	3	1	3	3		2	2	14
計	3	2	3	3		3	2	16

右の表は最近町内の九〇才以上の高齢者を調べたものです。

町内の最高年齢者は九六才で、女が二人となつています。

又九〇才以上の高齢者は全部で十六人となつていますが、その内女は十四人、男は僅か二人で、女が長生きしていることがわかります。

いうことです。

小さな欲望をみたすために、大きな夢をきせいにしていないか、皆さん今一度日常のくらしを考えてみようではありませんか。

ムダを省いて貯蓄をしましょう

8月の納税 完納の手で育てよう 明るい田代

県町民税の

第二期分の納期です

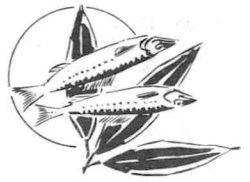


戦没者等の妻に交付された特別給付金国債を担保とする生業資金の貸付が行なわれます。
本年度の田代町の割当額は一八万八千円です。
御希望の方は早目に民生課へ申し出て下さい。

特別給付全国債の担保貸付が行なわれます

貸付担保が行なわれます

暑いとからだが目どく疲れます。これは暑さのため体内の新陳代謝が盛んになり、たくさんエネルギーを消耗するからです。
たとえば気温が二〇度のときと、三〇度のときでは、同じ仕事でも後の方が二〇倍もよい疲れるといわれます。従って夏は暑さのため体力が衰えて「夏やせ」になってしまうのです。
「夏やせ」を防ぐためには、まずアルカリ性の食品をとることが第一だといわれています。新鮮な野菜、くだもの類をたくさん食



暑さに負けぬ食生活

暑いときほど

食生活には工夫が必要です

べてください。

又暑さのために汗をかきやすく、このために体内のカルシウム分も失われます。カルシウムを多く含んだ牛乳、小魚等の食品もとる必要があります。

胃腸も弱り易い時期です。消化しやすい栄養価の高い牛や豚の肝臓、にんじん、のりなどをとるよう

に心掛けましょう。
ともかくあつさりした食物が欲しい暑い夏の季節こそ、体力の消耗がはげしいので食生活に工夫が必要だということになります。

恐しい日本脳炎がはやっています

1. 予防注射を必ず受けること。
2. 過労をさけ、充分睡眠をとること。
3. 栄養を充分とること。
4. 長時間直射日光を受けないこと。
5. 蚊にさされないこと。(蚊の駆除を充分行いましょう)
6. 熱発その他疑わしい症状が出たらすぐ医師にみてもらってください。

夏やすみのしめくくり

長い夏休みはしめくくりが大切です。はじめのうちはきちんと規則正しい生活をしていた子供たちも、
おしらせ



△九月号から「町民の声」らんを新しくつくりまします。町政に関すること、その他建設的な町民の皆様方の御意見を期待しています。
字数は五〇〇字以内、氏名、年令を書いて総務課へお送り下さい。取捨選たくは町に一任下さい。又原稿はお返ししません。

あとがき

八月号から広報紙の編集を総務課で担当することになりました。未熟者のそいでありましたが、町民の皆様方に親まれ、愛される紙面を作りたいと張り切っています。どしどし御意見、御指導を下さるようお願いいたします。

△八月十五日は盆のため臨時休業とします。

電線は生きています



セミ取りなどで電線に近い木にのぼるのはあぶないので注意しましょう。



スズメの巣を取るために電柱にのぼって、けがをした子どもがいます。電柱には登らないようにしましょう。



なこや飛行機が電線にひっかかったときには、九州電力に知らせてもらいましょう。

、半ばを過ぎると生活も不規則になりがちです。

朝ねや夜ふかしなど一度ついたくせはなかなかおしにくいものです。このようなくせのついた子供は早目におしおきましよう宿題も毎日やらして、登校まぎわになつて家族総動員でやるようなことのないようにしましょう。
受験をひかえた子供は休みを楽しむ余裕もなく、かえつて「受験ノイローゼ」にかかっている場合もあります。そんな時にはむしろゆつくり遊ばせて気分を転かをはかり、涼しくなる秋にそなえさせることが大切です。

感心しない遊びや、友達つきあいはしないか。十分子供を観察して、万一そんな気はあつたら先生とも連絡をとり早目にやめさせるようにしましょう。